

『（事業所名）』工賃向上計画

（令和7年4月策定）

I 事業所の概要

事業所名	ゆっくりん				
事業所種別	就労継続支援B型事業所			定員	40名
管理者	菅原 妙子		担当者	菅原 妙子	
開設年月	平成27年1月	新体系移行年月日		年	月 日
所在地等	(〒088-3214) 住所 北海道川上郡弟子屈町高栄2丁目3-36 電話 (015) 486-7711 FAX (015) 486-7711 e-mail yukkurin@iaa.itkeeper.ne.jp ホームページ				
設置主体	一般社団法人 ゆっくりん				
運営主体	一般社団法人 ゆっくりん				
開設目的（理念） (定款等から記載可)	当事業所は、多様な福祉サービスが、その利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、自らの力を発揮して自立した社会生活が送れるよう支援する。				
運営方針 (定款等から記載可ですが、できるだけ今現在の具体的な方針と考え方を記してください。)	何らかの障害等を抱える人たちにとって地域社会で生活することや就労することは、ひとりひとりに適した環境設定をし、本人の力を引き出すことが、重要と考える。今後、3年計画で中心となる事業を創設することで利用者ひとりひとりに適した作業を作り出し、全員で取り組めるようにしていきたい。				
利用者の障害程度 (手帳の保有状況) (年 月 日現在)	身障	1級 1名、2級 3名、3級 1名、4級 1名、5級 名、6級 1名			
	知的	A 3名、B 9名			
	精神	1級 名、2級 18名、3級 4名			
	その他	名 (診断書等による者)			
利用者の男女の別	男性 22名 (平均年齢50歳) / 女性 19名 (平均年齢57歳)				
利用者への福祉的支援(観点)に関する特徴、配慮	・送迎サービスをしている。 ・利用者に個別支援計画等を説明し、本人、家族、職員が、共通の理解に立つようになっている。 ・家族的な雰囲気を大事にして本人の考えや意欲を尊重している。				
工賃向上対象以外の実施事業	放課後等ディサービス (同一運営法人)				
工賃の決定・支払方法	・全職員で検討して利用者に説明している。時給制を取り毎月25日現金にて支払っている。				

Ⅱ 作業の内容

	作業名	内容（簡潔に説明）
①	内職	新聞紙でエコバッグを作成して納品する。
②	農作業	野菜を生産して販売する。
③	手芸	ビーズアクセサリ製造・雑巾縫い
④	便利屋	草刈・除雪・掃除等請負作業
⑤	パン・ジェラート店舗	パン製造販売・ジェラート販売
⑥		

※ 作業に従事する利用者が多い順にすべて記載してください。行が不足する場合は、適宜、挿入してください。

Ⅲ 目標工賃の設定

（１） 目標工賃

この表はエクセル形式です。ダブルクリックなどで開いてから入力してください。

	実績・見込み	目標			8年度 対5年月 (%)
		5年度	6年度	7年度	8年度
A 一人あたりの平均工賃月額(円) $E \div H \div 12$	23702	23628	23926	24556	103.6%
B 年間総収入 (円)	4967915	5600000	6000000	6000000	120.8%
C 年間総原価(工賃除く) (円)	1500000	2000000	2100000	2300000	153.3%
D 工賃支払前収支 (円) $B - C$	3500000	3600000	3900000	3700000	105.7%
E 年間工賃総額 (円)	7964012	7505483	7600000	7800000	97.9%
F 年間延べ利用者数 (人)	7100	7200	7200	7200	101.4%
G 年間開所日数 (日)	268	272	272	272	101.5%
H 開所1日あたりの利用者数(人) $F \div G$	28	26	26	26	94.5%
I 目標平均工賃(時間額) (円) $E \div J$	194	195	198	203	104.7%
J 年間作業時間数 (時間)	32000	38400	38400	38400	120.0%

※目標工賃を時間額で設定する場合は、G及びHの項目にも、記入してください。

※「H 年間作業時間数」は、例えば作業している利用者数が6人、月間平均作業日数が19日、1日平均作業時間が5.5時間であれば、 $6 \times 19 \times 5.5 = 7524$ （時間）になります。

Ⅳ 目標達成に向けた取組

（１） 事業所全体

① 工賃向上を可能とする基本的前提

※ どのような前提が実現されれば目標とする工賃水準が可能になるかを記入してください。

中心となる作業種目を設定することで収益が上がり目標工賃を達成できるようになると思われる。

② 取組の基本方針と具体的方策

※ ①の基本的前提を実現するために、施設全体として、どのような取り組みを行うか記入してください。

基本方針	(1) 自主製品の開発 、手芸品等の自主製品の開発を手がけて販売することにより工賃向上を目指す。 (2) 新規事業の開発 より収益性の高い新規事業を3年計画で実施する。計画の実施にあたっては、社会福祉施設整備事業の活用及び民間の団体からの助成金により施設整備及び備品等を予定しており令和7年度から順次助成金の応募をしていきたいと考えている。 新規事業として納豆の製造・販売を計画している。自主製品として納豆を製造できれば現在のゆっくりんのパンの顧客に販売して高収入が期待できると考えている。
具体的な取組方針	(1) について 利用者ひとりひとりと面談して自分の適性にあった手芸品や手作り品を研究・開発していくことで少しでも消費者に喜んでもらえるような製品を開発していく。 (2) について 社会福祉施設整備事業及び民間の助成金の申請担当者を決め積極的にエントリーしていく。また、すでに納豆の製造販売をしている事業所と連携を図り、製造のノウハウまたは、販路や器具、器械、設備等の指導を受けていきたい。

③ ②の基本方針に関する現状と課題

※ ②を進めていく上で、支障となることを、経営的、福祉的視点を分けて記載してください。

※ ここで記載する現状と課題が、次の④（改善方策や支援の要請）に繋がるようにしてください。

経営的な視点	経営基盤が、乏しいため設備投資に対する金銭的なハードルが高いためどうしても公的助成金制度及び民間の助成金に頼らざるを得ない現状である。投資に対して一部は、金融機関からの借入れをしなければならない。
福祉的な視点	製品の販路やノウハウ等について他事業所と連携を図ったり、商工会等との関係機関との連携も重要だと思われるが、現状では、つながりが薄い状況である。

④ 現段階で考えられる改善の方策と、行政、福祉団体、経済団体、企業、住民等に望むこと

※ ③の課題に対応するために、特に取り組むこと、あるいは行政や住民などに望むことがあれば記入してください。

社会福祉施設整備事業を申請し決定すれば、弊社の持ち出しが 1/4 で新規事業の展開が可能になると思われるので申請していきたい。

(2) 作業別の取組方針

※ 複数の作業科目がある事業所は、従事する利用者の多い作業から順に3つまで記載してください（それ以上記載しても構いません）。

※ 取組方針欄は、該当項目を囲んでください。

※ 利用者の状態や福祉的支援についても考慮して記載してください。

作業名 ①	内職
-------	----

取組方針	強化 現状維持 縮小 撤退
理由	(理由) 取引先からの受注量が、決められているので現状維持になる。 経営環境分析 ※ 内部環境 (〔強み〕、〔弱み〕)、外部環境 (〔機会〕、〔脅威〕) を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。 〔強み〕 当事業所の利用者は、高齢、自閉的な人が、多いのでいすに座って出来る作業は、重要だと捉えている。 〔弱み〕 受注作業なので数が決められており収入を上げていくには難しいと思われる。 〔機会〕 エコバッグを一般的に広めていく (顧客を通してなど) ことで利用してもらえるようピーアールしていく。 〔脅威〕 競争は、ないが一般的に広がりにくい製品である。事業所の売り上げに影響がでてくることが予想される。
目標	不良品を出来るだけなくしてロスを出さないようにする。
具体的な目標達成策	① 収入面について (商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など) ・ 職員会議等を開いて品質についての議論してもらう。 ・ 受注先との連携強化を図り数を増やしてもらえるよう協力依頼していく。 ・ 顧客等に宣伝広告をしていく。 ・ 新聞紙に英字新聞を使ってみる等試みる。 ② 支出面について (仕入れ、業務改善、コスト低減など) ・ 新聞は、職員や利用者が持ってきているが、廃品回収業者と連携を図り材料が、不足することがないようにしていく。 ③ その他

作業名 ②	パン・ジェラート店経営
取組方針	強化 現状維持 縮小 撤退
理由	(理由) 現在、お店での販売と移動販売・店舗卸等を行っているが、販路を広げていきたい。 経営環境分析 ※ 内部環境 (〔強み〕、〔弱み〕)、外部環境 (〔機会〕、〔脅威〕) を自己において整理することで、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。

	【強み】 ・食べ物、リピート率が比較的高いので顧客が、取り込める。 ・観光地ということもあり夏場は、旅行客の集客が見込める。 【弱み】 ・店舗が、町から離れた場所で地元の人より観光客が、お客様であるが、冬場の売り上げが下がる。 ・パンは、長持ちしないので商品ロスに気を使わなければならない。 【機会】 ・道の駅・イベント・町外への販路拡大を考えていきたい。 【脅威】 ・光熱費・資材等の高騰で利益幅が、縮小する懸念がある。 ・
目標	・お客様から美味しいと言ってもらえるようなパンを製造する。 ・冬場は、移動販売等で顧客を増やしていきたい。
具体的な 目標達成策	① 収入面について （商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など） ・新製品の開発を定期的に試食を行うなどして研究する。 ・観光客に、ジェラートを買ってもらえるような売り込み方を考える。（SNS等） ② 支出面について （仕入れ、業務改善、コスト低減など） ・事業所で生産している野菜を使っていくことでコストを下げる。 ・食品ロスのないよう店長を中心とした会議の実施。 ③ その他 ・ ・

作業名 ③	便利屋
取組方針	強化 現状維持 縮小 撤退
理由	（理由） ・一人暮らしの高齢者が、増えてきていることもあり、草取り・草刈・除雪・家具の移動・買い物代行・ごみ処分等の受注が、増えているので更に顧客を増やし収入に繋げていきたい。
	経営環境分析 ※ 内部環境（〔強み〕、〔弱み〕）、外部環境（〔機会〕、〔脅威〕）を自己において整理すること、経営方針等を策定する材料とするものです。可能であれば記載してください。 【強み】

	・特に原材料を必要としないのでコストを低く抑えることができる。 ・今年度、新たにリフト付きトラックを購入したのでお客様のニーズにより答えることが出来ると 【弱み】 ・利用者の高齢化・重度化がすすみ作業に従事する利用者が、少ない。 【機会】 ・宣伝広告をもう少し徹底したい。 ・ 【脅威】 ・特になし
目標	顧客を増やす。 公共的な委託作業を受注することで安定した収入を見込めるようにする。
具体的な 目標達成策	① 収入面について （商品開発、価格設定、販路拡大、宣伝広告など） ・燃料費等の値上げによる便利屋料金の引き上げを検討する。 ・ホームページやSNSの活用 ② 支出面について （仕入れ、業務改善、コスト低減など） ・6人用トラック導入によりコストの削減（今までは、軽トラックだったので車2台便乗していた） ③ その他 ・ ・

◎新規事業、あるいは設備投資による大幅な規模拡大を計画している場合は、次項も記載してください。

※ 取組方針欄は、該当項目を囲んでください。

作業名	納豆の製造・販売
取組方針	新規 大幅な規模拡大
商品・サービスの 内容	作業場を改修して納豆の小工場とする。作った納豆を訪問・注文販売する。
顧客・市場規模・ 販路	（対象顧客） ・町民 ・観光客

	(市場規模) ・ 町内 2 0 0 0 所帯、観光客年間 1 5 0 万人 ・ (販路) ※製造業、農業等の場合に記載してください。 ・ 道の駅 ・ 町内スーパー ・ パン販売での顧客（移動販売）
競合と差別化	(ライバルの状況) ・ 町内では、納豆製造販売工場はない。 (差別化の視点) ・ 地場産の材料（大豆）を利用して製造することで町の特産物として道の駅等での販売をしていく。
設備投資と資金	社会福祉施設整備事業補助金より 2 8 2 5 万円 自己資金 9 2 5 万円
収支と工賃	年間生産 4 8 0 0 0 パック 売り上げ 7 2 0 万円 工賃 月 平均一人+5, 0 0 0 円目標

V 取組の年次計画

※取り組む事項を簡潔に記載してください。

7 年度 (実施済を含む)

- ・ 納豆製造業者との実施事前協議
- ・ 社会福祉施設整備事業の申請

8 年度

- ・ 納豆製造販売を既に行っている事業所等へ職員研修実施
- ・ 社会福祉施設整備事業内定

9 年度

- ・ 納豆工場建設開始

(以下は、可能であれば記載してください。)

○固定資産の状況

※6年度(または7年度)の減価償却費の大きなものを中心に、可能な範囲で記入してください。(単位；千円)

資産名 (作業科目)	取得年	取得価額 (耐用年数)	26 年度末 償却済額	減価償却費 (6 年度)	減価償却費 (7 年度)	減価償却費 (8 年度)
()		(年)				

()		(年)				
()		(年)				

○投資計画（設備の内容、資金調達方法）

（単位；千円）

設備の内容・投資額		資金調達方法	
作業（事業）名：納豆製造販売		自己資金 借入 その他	9250 千円
a 設備名 豆腐工場一式	37500 千円		
b 設備名			

設備の内容・投資額		資金調達方法	
作業（事業）名：		自己資金 借入 その他	
a 設備名			
b 設備名			

○積立金の状況

※授産事業と関係の深い積立金等があれば可能な範囲で記入してください。

（単位；千円）

積立金名	目的	年度末積立額	年度までの使用見込み